

北吟吉 思想家、政治家。北一輝の弟。欧米要人との交流背景に、理想主義的国家主義の立場から盛んに言動。

きたれいきち

内閣発足・1885 = 北一輝の弟に生まれる。

帝国憲法発布1889 = 4歳 :

日清戦争始・1894 = 9歳 :

日比谷公園・1903 = 18歳 :

日露戦争終・1905 = 20歳 :

アソシエーション 創刊・1908 = 23歳 : 早稲田大学哲学科を卒業し、土浦中学校教諭、

大逆事件判決1911 = 26歳 : 東京府立三中教諭を経て、

明治天皇没・1912 = 27歳 :

大正政変・1913 = 28歳 : 母校早稲田大学の哲学科講師になると、

民本主義・1916 = 31歳 : 大学構内に大隈重信夫人の銅像を建設しようとして、

ロシア革命・1917 = 32歳 : <早稲田騒動>となり、主役の一人として活動、この間早大で開催された全国社会学大会で講演を行うなどした後、不首尾に終るも他の活動者とは異なって解職されず、きまりが悪くなって、

第一次大戦終1918 = 33歳 : 自ら退職して、アメリカへ留学、ハーバード大学大学院哲学科に入学し、

ハルビン条約・1919 = 34歳 : オックスフォード大学へ移り、

大暴落・1920 = 35歳 : フランスでベルクソンと、イタリアでクローチェと会見後、各国歴訪、ドイツのベルリン大学に続いて、

原敬首相暗殺1921 = 36歳 : *ハイデルベルグ大学に在籍して、哲学・政治学を研究し、リッケルトと親交、そのゼミナールで「日本の神祕主義」を講演して、高い評価を得て、

水平社結成・1922 = 37歳 : 帰国。早大復帰を求められるも、「他の同志とともに」と要望したため、実現しなかった。

関東大震災・1923 = 38歳 : 大東文化大学教授となり、

治安維持法・1925 = 40歳 : (日本新聞)創刊に際して編集監督兼論説委員となる。

円本時代始・1926 = 41歳 : 大正大学講師、

共産党事件・1928 = 43歳 : 総合評論雑誌(祖国)を創刊し、

世界恐慌・1929 = 44歳 : (祖国同志会)を結成した。帝国美術学校を創立して校長となり、

海軍軍縮条約1930 = 45歳 :

満州事変・1931 = 46歳 :

五一五事件・1932 = 47歳 : 渡米して、ハーバード大学プロフェッサークラブ客員会員となり、日本人最初の名譽と喧伝、ヨーロッパを歴訪し、要人らと会見して帰国。

芥川直木賞始1935 = 50歳 : (多摩美術専門学校(のち大学))を創立して校長、

二二六事件・1936 = 51歳 : 主張を良く示す「立候補宣言」を発表して、衆議院議員に当選直後<二二六事件>となる。以後連続8期当選。

日中戦争始・1937 = 52歳 :

総動員+健保・1938 = 53歳 : 中華民国の上海・杭州・南京を視察、教え子だった実業大臣王子恵と会見、和平工作。

第二次大戦始1939 = 54歳 : 中華民国の広東・海南島を視察後、*米欧を歴訪、シカゴで大山郁夫と会い、ノルウェーのオスロの万国議員会議で(民政党)代表として演説、帰途アメリカに亡命していたドイツの元宰相ブリューニングを訪問して、三国同盟不可で一致。

大政翼賛会・1940 = 55歳 : 政党解消とともに、鳩山一郎らと(同交会)を組織して、翼賛政治に反対、

日米開戦・1941 = 56歳 : 中華民国の上海・杭州・南京を視察。

敗戦・1945 = 60歳 :

新憲法公布・1946 = 61歳 : (自由党)結成の創立準備委員となり、選挙後、政務調査会長・筆頭総務兼憲法改正委員長となる。

新憲法施行・1947 = 62歳 : (自由党)顧問となり、入閣交渉しているうちに、言論ページで追放となり、

極東裁判決・1948 = 63歳 : 追放取消し運動をするもむなしく、断続的に発行してきた(祖国)も廃刊し、

独立回復・1951 = 66歳 : ようやく追放解除。

メーデー事件・1952 = 67歳 : 月刊(猶興)創刊。衆議院議員に復し、

テレビ放送始・1953 = 68歳 : 離島振興対策委員、

55年体制始・1955 = 70歳 : 衆議院懲罰委員長、

国連加盟・1956 = 71歳 : 月刊(猶興)廃刊、

なべ底不況・1957 = 72歳 : 憲法調査会委員・東北開発審議会委員などをつとめ、

安保闘争・1960 = 75歳 :

たいてい病始・1961 = 76歳 : 没した。